

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 社会 解答一覧 No.1

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは1と入力すること	成績処理システムでは2と入力すること
1	(1)		①	知識理解	○資料の国々が、イギリスの植民地であったこと、現在もイギリスとの結びつきが強いことのいずれかの視点から説明している。 ・これらの国々は、かつてイギリスの植民地だったため。 ・これらの国々は、イギリスとの結びつきが強いなど	○資料の国々が、イギリスの植民地であったこと、現在もイギリスとの結びつきが強いことの2つの視点から説明している。 ・これらの国々は、かつてイギリスの植民地であり、現在もイギリスとの結びつきが強いなど
	(2)		②	知識理解	○A・Bいずれかを正確に解答している。	○A・Bどちらも正確に解答している。 ・A 北大西洋 ・B 偏西 (ひらがな可)
	(3)		③	思考判断表現	○グラフを正しく選び、選んだ理由を伝統的な住居の特徴と関連付けて気温・降水量のいずれかの視点から記述している。 【記号】・㉒ 【理由】・高床で壁がなく風通しがよい建物であるので、気温が高い気候だと思ったから。 ・南緯13度と赤道に近いので、気温が高い気候だと思ったから。 ・伝統的な住居が木や葉を使ってできているので、植物が育ちやすい降水量の多い気候だと思ったから。 など	○グラフを正しく選び、選んだ理由を伝統的な住居の特徴と関連付けて気温・降水量の視点から記述している。 【記号】・㉒ 【理由】・サモアの伝統的な住居には壁がなく、高床で、木や葉を使ってできている。これらの特徴から、樹木が多く育つ高温多湿な気候と判断したから。 ・サモアは、南緯13度と赤道に近いので、気温が高く、降水量が多い気候だと思ったから。 など
2	(1)		④	知識理解		・エ
	(2)		⑤	思考判断表現		○海外生産が増加した理由について、「労働者の賃金」と「工場を作る土地」の2つの視点から、指定した語句を正しく使って記述している。 ・日本よりも労働者の賃金が安く、工場を作る土地を安く手に入れることができるから。 など ※輸送費用や生産した現地での販売等について触れて解答している場合も、上記の2つの語句を使って記述していない場合は不可。
3	(1)		⑥	技能		・ア
	(2)		⑦	技能		・D
	(3)		⑧	技能		・施設園芸農業 (完答)
	(4)		⑨	思考判断表現	○熊本県の人口減少や生産年齢人口の減少といった課題についてのみ記述している。または、「人口を増加させる方策」や「人口減少の抑制」のための解決方法についてのみ、資料をもとに正しく記述している。 ・熊本県では人口及び生産年齢人口が減少している。 ・人口を増やすためにUIターン希望者が相談できる場所をつくる。 ・働く場所が足りないことで県外に出て行く人を減らすために働く場所を増やす。 など	○熊本県の人口減少や生産年齢人口の減少といった課題を捉え、「人口を増加させる方策」や「人口減少の抑制」のための解決方法について資料をもとに正しく記述している。 ・熊本県では人口及び生産年齢人口が減少しているため、人口を増やすためにUIターン希望者が相談できる場所をつくる。また、働く場所が不足して県外に出て行く人を減らすために働く場所を増やす。 など

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 社会 解答一覧 No.2

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは1と入力すること	成績処理システムでは2と入力すること
3	(5)		⑩	関心 意欲 態度	○テーマとカードを選択し、観光資源の説明のみ記述している。 ・テーマ【ア 歴史】 崎津天主堂は江戸時代の潜伏キリシタンに関係が深い建造物で、世界遺産となっている。 など ・テーマ【イ 自然】 阿蘇山にはカルデラや草千里などがある。 など ・テーマ【ウ 食物】 トマトは熊本県の特産品で日本で最も生産量が多い。 など	○テーマとカードを選択し、観光資源を生かした観光客を増やすための考えを具体的に記述している。 ・テーマ【ア 歴史】 「青井阿蘇神社」や「万田坑」, 「三角西港」などを中心に県内各地の近世から近代の歴史的建造物を巡る観光コースをつくる。 など ・テーマ【イ 自然】 山の大自然「阿蘇山」と川の大自然「菊池渓谷」の美しい景観やアクティビティを体験する観光コースをつくる。 など ・テーマ【ウ 食物】 伝統食の「からしれんこん」作りと特産品の「トマトやデコボン収穫」など、味わうだけではなく体験型の観光コースをつくる。 など ※紹介VTRの作成など観光客を増やすための考えが具体的に記述してあれば可。
					【授業改善の視点】 地図や地球儀から位置関係や形状、分布などの情報を収集する技能や、複数の資料を見比べたり結び付けたりして読み取る技能を高めることで、地域的特色についての理解を深める学習を取り入れる。	
4	(1)		⑪	技能	○資料を読み取り、航路または人物名を正しく答えている。	○資料を読み取り、航路と人物名をすべて正しく答えている。 【記号】ア：B イ：A ウ：C 【人物】ア：バスコ＝ダ＝ガマ イ：コロンブス ウ：マゼラン (完答)
	(2)		⑫	思考 判断 表現	○アジアへ向かった目的、または海路にした理由のどちらかの視点から正しく記述している。 ・アジアの香辛料を手に入れたかったから。 ・陸路にある、イスラム商人を抱えるオスマン帝国やムガル帝国などを避けるため。 など	○アジアへ向かった目的と、海路にした理由の2つの視点から正しく記述している。 ・陸路にある、イスラム商人を抱えるオスマン帝国やムガル帝国などを避け、アジアの香辛料などの特産物を直接手に入れるため。 など
	(3)		⑬	思考 判断 表現		・C → B → A
	(4)		⑭	知識 理解	○貿易の名称、もしくはこの貿易で日本から主に輸出されていたもの、どちらか1つを正しく記述している。	○貿易の名称とこの貿易で日本から主に輸出されていたものを、両方正しく記述している。 ・貿易名：南蛮貿易 ・記号：イ (完答)
	(5)		⑮	技能		・エ
5	(1)		⑯	思考 判断 表現		・①：イ ②：ア ③：ウ (完答)
	(2)		⑰	技能	○どちらか1つを正解している。	○2つとも正解している。 ・ア ウ
	(3)		⑱	知識 理解	○制度の名称、またはこの制度を整えた将軍の名前のどちらか1つを正確に記述している。	○制度の名称と、この制度を整えた将軍の名前を正しく記述している。 ・制度名：参勤交代 ・将軍名：徳川家光
	(4)		⑲	技能		・エ
	(5)		⑳	関心 意欲 態度	○60字以上80字以下で説明しているが、年貢等の税制面での関連付けがない。 ・飢饉や天災により、百姓一揆や打ちこわしが起こったり、農村の状況の変化や商人が力を持ったりしたので、幕府の政治を安定させるために多くの改革を行った時代。 など	○60字以上80字以下で説明し、年貢等の税制面での関連付けができていない。 ・改革によっては、比較的成功したものもあったが、貨幣経済に移行後も米による年貢が幕府の財政の中心であったため根本的な解決には至らず、財政の悪化が続いた時代。 など
【授業改善の視点】 我が国の歴史と世界の歴史を関連付け、事象間の因果関係や関連を考察する学習活動を取り入れる。						